

杉村病院発
地域広報誌

No. 2

第2号

出会い in 杉村病院

私の闘病記

杉村病院 名誉院長 森田 浩一郎



昨年、秋頃より胸腹部に何と

も云えない不快感があり、気になつておりましたが、ついつい毎日の多忙に拘れ、普通の生活を続けておりました。しかしやがては、胸の奥に、自分なりの新病では食道下部のただれか、胃液の食道下部への逆流かなあの程度と考へておりました。疼痛もなく、多忙による疲れかなあと軽く考へていました。

患者様には、体に何か違和感があつた時は、検診・検査を何時もお断りしてゐる医師としては恥ずかしい次第でした。11月下旬、当院の外科名医藤田博博士に相談、胃カメラによる食道、胃の検査をしていただきました。一部、胃に病変が見つかり、摘出標本の病理検査を受けました。一週間後、やはり胃体部に癌腫が認められました。初期そして小さい癌との事でしたが、まさかの癌、やはり来るものが来

たと心に動揺が起りました。しかし私は、當日頃より、たとえ体に癌があろうとも、心もまでは病（やま）まさないとの信念をもつておりましたので、早速、体の病の処置につき、杉村理事長・藤田博士・長男の医師と相談、皆様のお力を得て手術に踏み切りました。

幸い、胃の癌腫の初期状態で癌層には全然浸透して居ないと判明し、安心は致しました。しかし、我が病理標本を自分の目で見ると思惟がはつきりあるではないか、日頃使つたな事を云つてゐる私も若い人間になつておりました。私も以前、前立腺肥大による手術、痔や声帯ポリープの切除等の経験はありましたが、自身の癌は初めて、よく患者様に察についての病状の告知をする事がありました。

医師としてやはり患者様の心の動揺はよく感じ、それに対応してより良いインフォームド・コンセントへ説明と同意に心掛けて参りました。しかし、自ら自分自身が癌を体験して、もつと癌者様、相手の立場になつて、癌（ジュー）の心、深い愛の心でのご説明、ご理解を得ることが大切と実感した次第です。

天命という言葉があります。孔子が故郷を去られ、轉國のため前河を渡るか渡らないかの決断に迫られた時、天命に従つて進むべき地に命をつくり、すばらしい論議をはじめ東洋哲学をつくられました。ローマ皇帝が天命に従つてムビコン河を渡つた。所謂「さい」は投げられた。その結果、大ローマ帝国が誕生することが出来た。人は天命に従つて生まれ、成長し、病気を

いかに天命に従い、常に心に安堵感を持って生き、老と病に強く立ち向かう事が人生を生きる道ではないでしょうか。

また、エアコンにつきましては、今も今存、全ての病室を、病室ごとに温度設定、オン、オフ操作できるセパレート方式に入れ替えましたので、熱帯夜のエアコンのオフ時（これは新築の病室以外、全館一休みの治療室が多い為、どこの事務長さんにも

院内改修工事便覧

事務局長 馬場 勝世

かねてより懸案だった、一般病室・特設室の前面リニューアルが今年一月に完了、特殊病室も一台増設し、患者様の入浴に關する環境は、格段に向上したと考へております。

基本健康診査のお知らせ

40歳以上で健診を受ける機会のない市民の皆様が年に1回（年度内に1回）無料で受けることができます。内容は、

- ① 問診 ② 身体計測 身長・体重
- ③ 診察 ④ 血圧測定
- ⑤ 検尿 ⑥ 糖・蛋白・潜血検査
- ⑦ 血液検査 ⑧ 心電図検査

ご希望の方は受付にお問い合わせください。

横断している問題なので、意味な話ですが、（・）も、患者様のご要望にかなりお答えすることができるようになりました。

現在、病室のドア及び内装の改修工事を行っており、「三層工事中」、順次四階、五階、六階へと進めていきます。患者様の移動等で所帯のスタッフの方は大変かと思いますが、よろしくお願ひいたします。また、病棟の廊下につきましても、なるべく患者様に心地よい環境を整えておきたいだけのような味方を選定中で、決まり次第フロアーごとに工事を進めていく予定しております。

新入職員紹介

8月22日以降に入られた

職員の方の紹介です

秋高とともに病院に入ってきた仲間を紹介します。この仲間がでることは、きつと職にも慣れて、生き生きと仕事をこなしていらっしゃると思います。



藤田 りささん

受付勤務

人と接する仕事に慣れ、この仕事にハマりました。秋山の患者様とお知り合いになれるのは嬉しいのですが、忙しくなるについで丁寧な対応を忘れそうになってしまうのが悩みです。不慣れでご迷惑をおかけしますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



堀江 時子さん

調理助手 実務勤務

自分が作った料理で患者様に元気になってほしいとこの仕事を運びました。採食と遊藝の両方の楽しみで、先月末にも人目の係が生まれたばかりです。仕事は大変ですが、将来の自分の為にもなる仕事なので情一杯頑張ります。



赤崎 まなみさん

薬剤師助手 薬剤師勤務

薬剤師助手（フルタイム・オカリナ）が趣味で、以前は音楽教室で教えていたり、音楽イベントに参加していました。責任のある仕事ですが、お薬についての知識が得られるので大変勉強になります。明るい性格なので、皆さんぜひ声をかけてください。



塩崎 亜紀さん

介護士 実務勤務

人のお世話をすることが好きでこの仕事につきました。大変だけど、患者様と楽しく会話をしながら介護にあたっています。疲れた時は、友人と温泉めぐりをすることでストレス発散しています。



酒井 翔さん

介護士 実務勤務

以前は、施設で運動の指導員についていました。初めての病院勤務ですが、一つの業務が大変勉強になります。休みの日は、友達と遊びに行くか、読書をして過ごしています。最近読んだ中でお薦めの作品は「1週間のお母さん」という小説です。

院内感染対策委員会便り

患者様が安心して、安全な医療を受けられる環境を整える為、活動しています。感染症の状況を正確に把握し、正しい知識の啓蒙を図ることを目標に、平成8年5月より志村院長を委員長として活動をはじめました。

昨年4月からは「Cチーム」院内感染対策チームを立ち上げ、各病棟・外来の看護部長・検査部長のメンバーが直接院内をまわって問題を各部署に説明、問題のあるところはすぐに改善するよう努めています。

紙オムツがきちんと回収されているか、生ゴミの状況はどうか、そんな身近な問題にも取り組んでいます。9月の委員会ではゴミ処理が課題として問題になり、早速回収機をつくり、きれいになりました。皆さん、気づかれましたか？

院内感染防止に最も大切なことは手洗いだと言われています。手洗いはマニュアルの手順を守って正確に実施しましょう。

インフルエンザの季節も間近。現在、予防注射実施中です。職員の方は、かかる可能性も高いので、積極的に受けて下さい。一般の方の予防接種も、勿論実施中です。



リハビリリテラシーセミナーです



スタッフ紹介

明 二 リハビリテーション科部長
理学療法士

一 七 サプリ：腰こりや肩こりがある方を柔らかくしませんか？問題です！セミナーに一本足して式を完成させて

五 島 ルミ（理学療法士）

手話：子供の喜ぶ顔が見たくてコッコッやっています。思いのほか喜ばないのが残念ですが・・・

田中 誠（理学療法士）

剣道：白坪小学校剣道愛好会で剣道の指導をしています。子供に剣道を学ばせたい方はぜひ一報ください。

新 城 寛久（理学療法士）

サックス：武田真治を目標して二ヶ月になりますが、音の固ない日々が続いております。誰か教えてください

武 田 英吉（理学療法士）

ストレッツ体操：運動不足解消、若返りを目的して柔軟体操から始めています。

池 下 慎市（理学療法士）

バイク、温泉、スノボ：今年もスノボツアーを計画しています。興味のある方をかけてください。ツーリング、温泉もいろいろ、フォー！

前 田 剛高（鍼灸・あんま・マッサージ師）

グラウンドソフト：南本県チームの監督として日本中を駆けずり回り、果ては世界に引越したこうと努力しています。

田 上 孝正（鍼灸・あんま・マッサージ師）

映画鑑賞：最近見た映画の中でオスス大



第三体操

足の裏は90度くらいから徐々に！



第二体操

背筋を伸ばして、腰も伸ばして



第一体操

出来るだけ足をひいておへそをつきだすように

腰痛体操

職員の高さん、腰痛で悩んでいませんか？

ストレッツで体を柔らかく保ち、心も体も健康に！簡単な「真向法」という体操の体操をご紹介します！

は「マネージャー」皆さんも是非見てください。マンガ本を見てからだと楽しさが増えます



第四体操

後ろに手をつけて、体を起こしてもOK！足すつでもOK

野球部だより

杉村病院野球部は現在、部員13名で活動をおこなっております。男性部員の約半分が野球部員ということもあり、同じ時間に人数をそろえるという事が難しく、チーム練習がなかなか出来ません。今年こそは早起き野球に参加しようと思っていたのですが、練習場の確保が思うようにいかなかったこともあり、参加できませんでした。

しかし、今年の4月に甲子園出場経験を持つ、リハビリテーション部の 池下君が入部した事により、戦力アップ、他の部員を熱心に指導してくれて、皆気合が入ってきました。

来年か再来年までには早起き野球に参加し、優勝を目指し頑張っていきたいと思っております。

野球部では、私達とともに活動して頂ける「マネージャー」を募集中です。性別・年齢不問。やる気のある方お待ちしております。



まちの名医紹介 第二回

医療法人 仁木会 仁木病院 理事長 仁木 啓介先生

日本臨床催眠学会常任理事・日赤午後診療
研修指導医等、お忙しい投書に山田こなしなが
ら、臨床医としてもこぼれ落ち中の仁木先生に今
日は直撃インタビューです。

Q まず、たくさんある診療科の中から、
精神科を選ばれたのはなぜでしょうか
学生の頃、いろんな診療科をまわりました
が、他の診療科だと、自分がどうい
う医者になるか想像ができませんでした。ところが、精
神科医と出会った時、自分がどんな医者にな
るか、まるで見当がつきました。様
々の患者様に出会って、自分はこういう医
者になっていくのか、そこを見届けたかっ
たのかな。

父も精神科ですが、父が仕事をしてい
る姿は見たことがありませんので、父の影
響というわけではないと思います。

仁木先生の病院では、他ではなかなか受
けられない治療法を、取り入れていらっ
しやるとお聞きしましたか。

催眠療法とEMDRを行っています。催眠
療法は他本邦ではうちだけです。

言葉かけによって、トランス状態（麻
痺している状態）でも起きてもない、リラク
スした状態にするので、その人の精神的
ストレスや不安を取り除いていきます。不
安感の強い人、心にとらうマをもっている
人が適応です。EMDRというのには、眼球
運動をさせながらその人のトラウマを取り



除くことです。外
傷的な出来事を考
えてもらいな
が、患者さんの眼
の前で指を一定の
速度で動かしま
す。それを観て過
いかけてもらうこ
とで、五年、十年
かけて心が癒されていくプロセスを非常に
短時間で進めることができます。

先生ご自身の
ストレス解消法は何ですか
九州各県、神戸などからも患者さんが来ま
すし、二月までは予約がいっぱいなんです。本
院の犯罪被害者支援センターのバック
アップなどもあり、日曜日はほとんどあり
ません。年に二回位、休日をこわして寝込
みますが、寝込んでいるときにストレス解
消している時かな・・・(笑)

月一回、お村病院に来てくださって、入
院患者さんを見ていただくために本島に参
照しています。
杉村理事長は私の先輩ですし、森田名譽院
長からも信頼と愛を注いでいますからね。な
んとしても、縁を付けてきてますよ。
明日からは、アメリカへ学会出席の為、出費
という理由で仁木先生。
本日はお話しありがとうございました

日型肝炎、C型肝炎、てどんな病気なの？

回答者 杉村病院 消化器科 井戸 泰徳医師

一度 検査を受けて見られませんか？

肝臓は俗に「物を言わない臓器」といわ
れ、ひどくなるまで症状が出ません。
症状とは真直や全身倦怠感・全身がだる
い・などです。悪くなっても肝臓のところ
が痛くなるなどありません。「物を言わな
い臓器」と言われる所以です。

肝臓の病気は主にウイルス、アルコール、
薬物によって引き起こされます。そして日
本人の肝臓病の実に80%がウイルスによ
って引き起こされています。肝炎のウイルス
が肝臓に住み着くことによって起こるので
す。

肝炎ウイルスは、A型・B型・C型・D
型・E型・G型・I・V型が現在分類されて
いて、そのうち慢性化して肝硬変・肝癌な
どになってゆくのはB型肝炎とC型肝炎で
す。この2つの肝炎ウイルスの感染経路は
良く知っていて、輸血・血液製剤・性行為や
出産時に起こる母子感染・歯車の乱用など
です。

今では、献血スクリーニング方法が採用
されたことにより、輸血や血液製剤でうつ
ることはほとんどありませんが、昭和の
時代に輸血を受けた人は罹患している人も
多くいます。

性行為による感染のメカニズムはまだ解
明されていませんが、知らないうちにつ
ついている事がほとんどです。
妊婦さんは産科で必ずB型肝炎・C型肝炎



炎の検査を受け、医師は子供にうつらない
ように対策を講
じています。
「肝臓が悪い
ですね」と言わ
れたことのある
患者さんの中に
は、内臓脂肪が
貯まっただけの
脂肪肝の人もい
ますが、B型肝炎やC型肝炎の患者さん
もかなりいらつしやいます。放っておくと数
十年後には肝硬変、肝癌になります。
検査は採血だけです。一度検査を受けて
見られませんか？

編集後記

あつという間に秋も深まってまいりまし
た。外業に風邪の患者さんも多くなって
います。

編集部も鼻炎で鼻ズルズル
の状態で2号を仕上げまし
た。





看護部長
杉山 由香子

ホスピタリティマインドを基本に 理想的な医療介護連携を実現

医療法人 杉村会 杉村病院

「患者様の介護度は程度の方
付ける。」

杉村病院の病床は1777床、併設する介護老人保健施設「のぞみ」が74床で、その稼働率はここ数年半常に90%を超える。神部や入間ドックの機能充実を図りながらプライマリケアア（かかりつけの医）として地域に根付き、一方で高齢者医療を主眼に置きながら介護老人保健施設を併設、移転型のコンパクトで機能的な医療介護連携のシステムを構築している。昨年は、特に高齢者医療での心と体のケアをより充実するため、自働化システム搭載の導入、今年はいグレードと特別室を設けるなど、院内施設のリニューアルも実施中だ。



看護部長
杉山 由香子



看護部長
杉山 由香子

も多く、長期に渡る入院は心も体もクローズになりがちです。入院生活の安全性と快適性を重視し心のケアとしては季節毎のイベントを行い、皆様に楽しんで頂いています。又、病状によっては、鼻から管を通して栄養剤として、患者様もいらつしやるが、胃腸施設や食事の形態を工夫する事により、出来るだけ、経口による食事への切り替えを共働して、います」と杉山由香子看護部長は、二重黄パラシスにもあきらみず、患者様の意向に合う食事の提供を心がけています」と清瀬佳代栄養士は、調理現場を創り、食事の提供がその試食をしながら患者の反応を好みにより食事の量を調整するということだわりふりだ、さらに口腔ケアの重要性も説く。




杉村病院の病室の様子。患者様の快適な生活を実現するために、様々な設備を整えています。

「一方、施設内でも重要なのがリハビリテーション科。同病院には杉名の理学療法士、2名の鍼灸師がその役割を担う。病室を相らびるかがポイント。健康の充実や器具に頼りがちな物理療法から、徒手療法や鍼灸などの東洋医学的な治療も用いられています」と明瞭な二リハビリテーション科部長。あくまで患者の立場に立った治療を実施、ホスピタリティマインドを基本理念に現場のスタッフは行動する。

一般医療、療養型医療、介護、老健、さらに在宅と、そのレベルに依りて最も適切な対応をきめ細かく柔軟的に調整し、フォローする。そのための役割を担ったコミュニケーションとチーム連携が同病院の強みと見えよう。

「世間の介護老人保健施設」のその一、杉村会（旧、杉村会）も五施設として、医療、看護、介護、リハビリのサービスを全て提供できるわけです。特に救急搬送を受けている病院併設のため、救急への対応も迅速です。さらに、熱心に立地しているため、家族との面会も容易な環境にあります。医療も介護も人と人との心の交流が原点です。その考えが職員へ浸透すれば自然と温かなホスピタリティが生まれてくるのです」と笑顔のふれあいを実践している。

医療法人 杉村会
救急指定  **杉村病院**

〒850-0811 熊本県本荘3丁目7-18 TEL096-372-3322 FAX096-371-0886

診療科目 内科・泌尿内科・消化器科・循環器科・呼吸器科・外科・整形外科・脳神経外科
小児科（土日も診察いたしてまいります。尚、祝日は休診）リハビリテーション科・人間ドック

施設 介護老人保健施設「のぞみ」 在宅介護支援センター「のぞみ」
ヘルパーステーション「のぞみ」 居宅介護支援事務所「のぞみ」